

私の「電子版」拡大

この夏、公明新聞電子版の購読を推進し、党勢拡大に奮闘する全国の地方議員を紹介します。



福岡・春日市議会
高橋 裕子議員

私は日頃、党員会で電子版アプリを活用して、政治学習を行っています。テレビなどにつなげれば、カラーで見やすく、紙面も大きくでき、参加者から「分かりやすい」と喜ばれています。

先日、市内の解体工事業者の経営者から、本紙7月15日付4面に掲載されたアスベスト対策に関する解説記事を同業組合の会合で紹介し、好評だったと聞きました。ただ、紙の新聞をパソコンに取

り込んだため、「文字が小さくなってしまった」と言っていました。そこで、プレゼンテーションに活用できる電子版アプリの魅力を紹介したところ、電子版を購読してくれました。

活用例などアプリの魅力を紹介



兵庫県議会
松田 一成議員

現在、公明新聞の実配部数で100部を超える購読推進ができています。電子版も企業・団体購読のウェブ申し込みで拡大できました。

先日、水関連機器総合メーカーの役員は、「会社でゆつくりする時間もないので、いつでもどこでも読む電子版であれば読みたい」と言って購読。電子版の利便性が決め手となりました。

この夏、党勢拡大の最大の武器である公明新聞の購読推進に一層取り組みます。

より簡単になったウェブ申し込み



埼玉県議会
権守 幸男議員

公明新聞電子版は、スマートフォン（スマホ）やパソコンで手軽に読め、会社経営者から「使い勝手が良い」と好評です。

先日、埼玉県内の企業1社に、電子版7部（1D）を購読推進できました。4部の購読を勧めたくれ

ました。公明新聞の購読推進では、電子版に対する需要の高まりを実感しています。党勢拡大に向けて、新しい購読層を獲得できる電子版を武器に頑張ります。

「従業員にも読ませたい」と購読

簡単手続き！ 企業・団体購読ウェブ申し込み

1 パソコン、スマホ、タブレットから



申し込み方法は、パソコンやスマホ、タブレット端末で、公明新聞電子版のホームページにアクセスし、必要事項を入力するだけです。

詳しくは動画で ▶



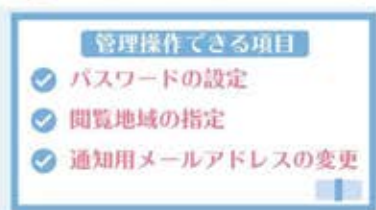
2 「クレジット」「請求書」どちらでも



支払方法は「クレジットカード」と請求書による「銀行振込」の2つから選べます。購読期間は「3カ月」「6カ月」「1年」「長期」から選択できます。

なお、クレジットカード払いは、毎月払いになります。

3 複数ID(多部数)でも一括操作



法人の購読管理は複数ID（多部数）を一括して行えます。パスワード、通知用メールアドレスの設定・変更のほか、閲覧地域を支社所在地などに指定できます。一括管理で、支社・部門別に、購読契約する必要がありません。

企業・団体(法人)

日刊(月額1527円)

※初月無料の適用はありません

個人

日刊(月額1527円)

白昼版(月額255円)

※初月無料

購読はこちら



公明新聞電子版コールセンター

0120-350500

(平日9時~17時)